こんな仕事だったんだ！

家庭裁判所調査官

Internship in NAGOYA

2019. 8. 21－8. 23

講義型よりも**体験型が多くて**良かった。

（実習生のアンケートから）

名古屋家庭裁判所でインターンシップを開催し，16名の学生の皆さんに参加していただきました。学生の皆さんの様子や感想などを，主なプログラムに沿ってお届けします！

もともと持っていたイメージと**良い意味で違っていた**ので，ぜひ体験してほしい。

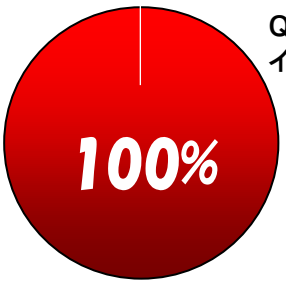
（実習生のアンケートから）

家庭裁判所調査官の仕事を知るだけでなく，話を聞く力，様々な視点で物事を捉える力，分かりやすく人に説明する力など，**社会で必要な力を伸ばすことができる。**

（実習生のアンケートから）

インターンシップに参加すれば家庭裁判所調査官の仕事に対して**確実に興味がわく。**

（実習生のアンケートから）



Q. インターンシップの参加を考えている後輩に対して，裁判所インターンシップはおススメできますか？

参加者全員が「おススメできる」と回答！

Day1

少年事件
- 導入説明・自己紹介
- 講義
- 調査準備（グループ討議）
- 模擬面接（少年の調査）

導入 → 講義 → 討議 → 体験 → 2日目へGO！

【 導入説明・自己紹介 】

実習生の自己紹介からスタート！
皆さんの学年や専攻は様々です。緊張の面持ちでしたが，実習に臨む熱い気持ちが伝わりました。

【 講義 】

家庭裁判所では何が行われているのか，その中で家庭裁判所調査官はどのような役割を果たしているのかについて，講義が行われました。実習生は真剣な眼差しで耳を傾けていました。

【 調査準備（グループ討議） 】

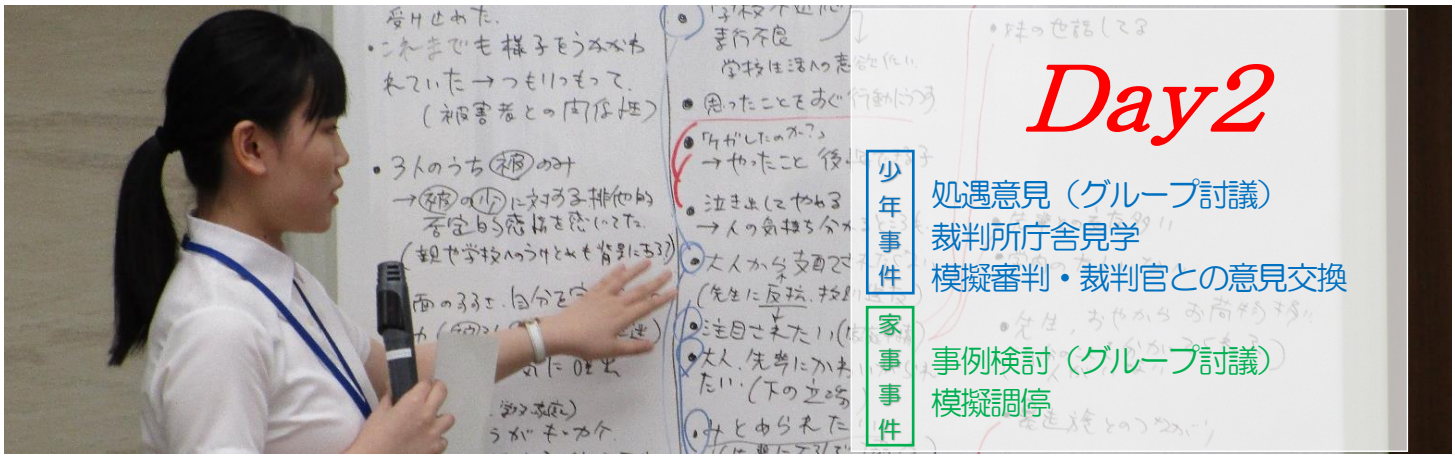
少年事件の実習が始まりました。模擬事例をもとに，少年はなぜ非行に至ったのか，取り巻く環境はどのようなものかについて討議しました。

【 模擬面接（少年の調査） 】

実習生が家庭裁判所調査官役，少年役となって模擬の面接を体験しました。最初はシナリオに沿って，次はアドリブでの面接に挑戦です。グループ討議の結果を踏まえながら，それぞれ工夫して役を演じました。

参加者の声

- 体験しなければ分からないところが多く，良い経験になった。
- 優しく丁寧に説明をしてくれるため，物おじせずに意見を言うことができた。
- グループ討議に不慣れでも問題なく参加できた。



Day2

少年事件
- 処遇意見（グループ討議）
- 裁判所庁舎見学
- 模擬審判・裁判官との意見交換

家事事件
- 事例検討（グループ討議）
- 模擬調停

討議

見学

体験

討議

あと少し！

【 処遇意見（グループ討議） 】

少年の立ち直りのために何が必要なのか，皆さん白熱した議論を展開しました。

【 裁判所庁舎見学 】

日頃目にしない執務室や調停室，児童室を見学し，皆さん興味津々でした。

【 模擬審判 】

少年審判廷で模擬審判を体験しました。裁判官が見守る中，実習生は家庭裁判所調査官役として少年・保護者に気持ちを伝えました。

【 裁判官との意見交換 】

裁判官と振り返りをしました。実際に少年事件を担当する裁判官と接することができるまたとない機会に，たくさん質問が出ました。

【 事例検討（グループ討議），模擬調停 】

インターンシップ後半から，家事事件の実習開始です。親権を争う調停事件の模擬事例をもとに，全員で検討しました。模擬の調停も見学しました。

参加者の声

- 本物の裁判官に来てもらい，本番さながらの雰囲気が感じられた。
- 答えのないことを議論する楽しさを学べた。
- 他者の意見を聞くことで自分にはなかった考えを知ることができた。

Day3

家事事件
- 父母・子どもの心情（グループ討議）
- 子どもの調査準備（グループ討議）
- 模擬面接（子どもの調査）
- 全体の振り返り，座談会

討議

【 父母・子どもの心情 （グループ討議） 】

事例の題材となるＤＶＤを視聴し，父母の紛争に直面する子どもや，その父母の心情について討議しました。様々な視点から意見が出ました。

討議

【 子どもの調査準備（グループ討議） 】

子どもの心情を理解するために，どのような質問が考えられるか，また，その質問をどのように聞けば良いか，皆で話し合いました。

体験

【 模擬面接（子どもの調査） 】

実際に家庭裁判所調査官役，子ども役となって面接を体験しました。実習生は，子どもとの面接の難しさをリアルに感じられたようでした。

まとめ

【 全体の振り返り，座談会 】

３日間のインターンシップもいよいよラストです。全体を振り返り，それぞれが感じたこと，得られたことを共有しました。また，実習指導官から，実習の様子について一人一人にフィードバックしました。

お疲れさまでした。

参加者の声

- 子どもの気持ちとの向き合い方を考えることができた。
- 最後に一人一人フィードバックがあって驚いた。自分では意識していなかった強みに気づくことができた。
- ３日間のプログラムで，段階を追って仕事を理解できたことが良かった。